

《研究に関する情報公開文書》

- 研究課題** : ロドデノール誘発性脱色素斑に関する調査研究
主研究機関 : 藤田保健衛生大学
 医学部 アレルギー疾患対策医療学
対象医療機関 : 大阪大学、山形大学、札幌医科大学、刈谷豊田総合病院、新潟大学
研究責任者 : 藤田保健衛生大学医学部 アレルギー疾患対策医療学 教授 松永佳世子
連絡先 : TEL 0562-93-9441 (月～金 10:00～14:00)
研究期間 : 2021年3月31日まで(予定)

研究の目的・背景：

ロドデノールを2%含有した医薬部外品が2008年に発売開始され、本製品の使用者に脱色素斑等の皮膚障害が多発するという事例が発生しました。2013年7月に(株)カネボウ化粧品、(株)リサーチ、(株)エキップによる製品の自主回収がされましたが、日本皮膚科学会は2013年7月に「ロドデノール含有化粧品の安全性に関する特別委員会」を組織し、調査研究を行い、患者様への質問にFAQを作成し対応をしてきました。

平成27年5月にロドデノール含有化粧品の安全性に関する特別委員会が終了し、患者へのロドデノール誘発性脱色素斑の治療や病因などの最新情報を提供する手段がなくなり、同様に、現在も治療に携わっている医師にも効果的な治療法の最新情報を提供する場がなくなってしまったことから、(株)カネボウ化粧品の依頼により、専門家の正しい判断を加えた上での継続的な情報提供を目的とした研究チームでの活動をする事となりました。

本研究では、ロドデノール含有製品により脱色素斑を生じた患者様を対象に、治療と予後をアンケート調査し、収集した患者情報から新しい治療法の可能性があるかを調査いたします。

担当医師により、患者様について、年齢、性別、問診情報(症状、治療の状況、日常の制限状況)などをアンケートに記載しますが、個人を特定しうる情報(カルテID・氏名など)については提供されません。

研究対象者等及びその関係者からの相談等への対応に関する情報：

本研究の対象になられる方で、ご自身のデータの利用を除外してほしいと希望される方は、担当医師にご相談ください。除外のお申し出により不利益を被ることは一切ありません。

また、研究のより詳しい内容をお知りになりたい場合は、この研究の独創性確保に支障がない範囲で、資料を閲覧していただくことが可能です。希望される場合は、上記連絡先にお申し出下さい。